

上昇する世界の気温-地球温暖化-

ち きゅう おん だん か

さんぎょう かくめい

産業革命が始まった1880年から2012年までの間、世界の平均気温は0.85℃上昇しました。

特に、近年（1970年～2000年）は急激な上昇が見られます。

世界の平均気温がなぜこんなに上昇しているのでしょうか？

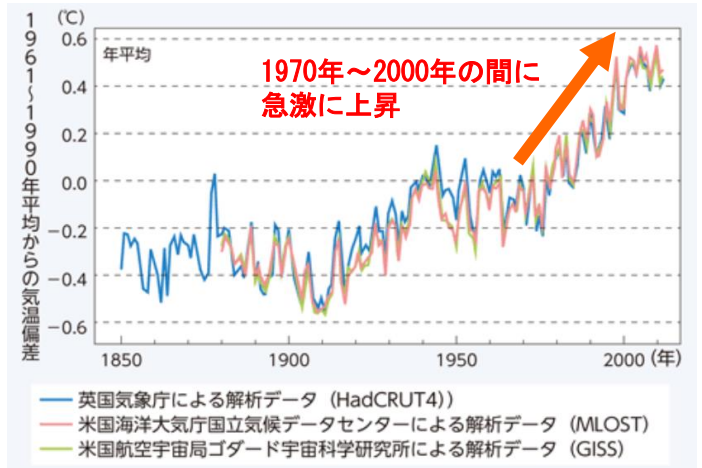


図. 観測された世界平均地上気温（陸域+海上）の偏差（1850～2012年）

出典:環境省

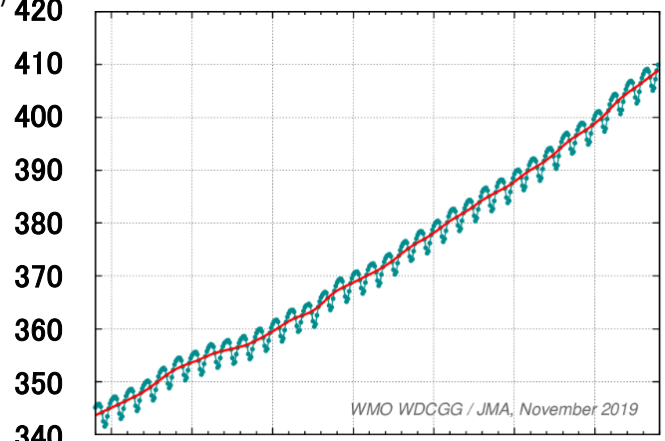
CO₂の増加と地球温暖化のメカニズム

① CO₂の増加

産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使用することで、大気中への二酸化炭素（CO₂）の排出を急速に増加させてしまいました。

2018年の世界の平均濃度は、前年と比べて2.3ppm増えて407.8ppmとなっており、1750年以前の平均的な値とされる278ppmと比べて、47%も増加しています。

CO₂濃度 (ppm)



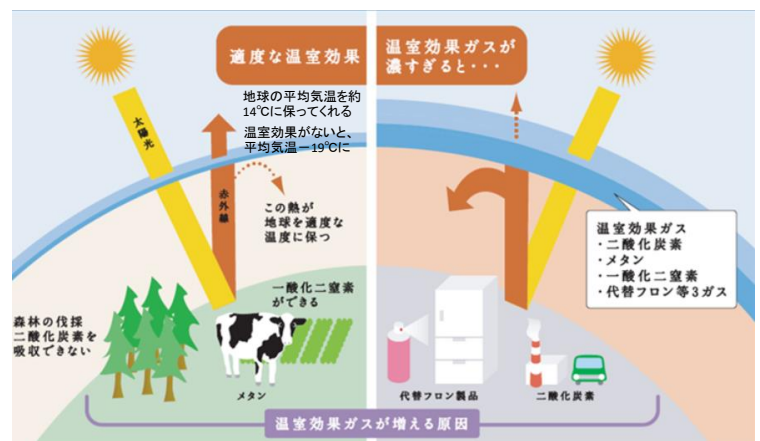
1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 年
世界各地の観測データから解析したCO₂平均濃度

出典:気象庁

② 地球温暖化のメカニズム -二酸化炭素などによる温室効果-

大気中の二酸化炭素などは温室効果ガスと呼ばれ、地表から出ていく赤外線を吸収し、熱として大気に蓄積し、再び地球の表面に戻り表面付近の大気を暖めます。

大気中の温室効果ガスが増えると温室効果が強まり、地球の表面の気温が高くなるのです。



出典:経済産業省